

Vol.46 April 2011

Shinko Hospital

Medical News

<http://www.shinkohp.or.jp/>

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦

神鋼病院血液病センターが目指すもの

ごあいさつ

本年1月より血液病センター長に就任いたしました。前任の神戸市立中央市民病院では、多くの患者さんをご紹介いただきありがとうございました。神鋼病院では一層、地域の医療機関に密着した医療を行って参りたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、当院では昨年10月に「血液センター」として発足しましたが、「赤十字血液センター」と紛らわしいので、本年より「血液病センター」と改称いたしました。ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

血液病センターとは

センターという名称は色々な病院で見かけますが、ハード面などの実体が無く、名目上のものも少なくないように思います。

しかし、当院には昨年6月にオープンした血液疾患移植センターがあります。ここには無菌病室が19床あり、造血細胞移植や化学療法で白血球が減少する患者さんが入室し、ほぼフル回転の状態です。病室だけでなく、廊下やリフレッシュコーナーの空気もクリーン

な状態ですので、ゆったりと開放感のあるクリーンエリアです。

当院の血液病センターはこの移植センターを確固たる核とし、看護部、検査室、化学療法担当薬剤師、栄養士、理学療法士、さらに、これから立ち上げる細胞治療室から構成されるもので、週1回のペースでミーティングを行っております。

兵庫県の血液疾患診療施設

血液疾患の診療可能な施設および人員は全国的に不足しておりますが、兵庫県も例外ではありません。

特に加古川、姫路、三木市などの西部地区の不足が顕著で、血液疾患患者さんが県下の大学病院など大手の病院に流入し、これら大手の病院では常に病床が不足し、入院までの待ち期間が長くなっております。造血細胞移植を行っている施設も限られており、患者さんを受け入れても移植ができるのは数ヶ月先というのが現状です。

血液疾患の多くは“待てない”病態であり、治療の遅れが予後に大きく影響しますので、受け入れ施設の不足は大きな社会問題でもあります。

血液病センターの地域での役割

当院血液病センターの兵庫県での役割は、まず近隣地域から紹介していただいた患者さんをすぐに受け入れ、迅速で的確な診断および治療を行い、落ち着いた段階で紹介いただいた医療機関に戻っていただくことであります。これが第1の役割ではありますが、余裕があれば血液診療過疎地域からの患者さんを受け入れ、兵庫県全体の血液疾患診療に寄与することも重要と考えております。当院で骨髄移植が始まったのは比較的最近のことではありますが、当院の参入により、県下の造血細胞移



Takayuki Takahashi

PROFILE

神鋼病院 血液病センター

センター長 高橋 隆幸

京都大学 昭和45年卒業

- ・日本内科学会
- ・日本血液学会
- ・日本癌治療学会
- ・日本臨床検査医学会
- ・日本臨床免疫学会
- ・造血細胞移植学会



無菌病室



7階西病棟

植の待ち期間がやや緩和されたという印象は確かにあります。

血液病診療の今昔

以前は、白血病などの造血器悪性腫瘍は“治らない病気”とされ、血液内科医はボランティア精神でハードな業務に立ち向かう奇抜な精神の持ち主というイメージがありましたが、分子生物学の進歩により、血液疾患診療の現場は大きく様変わりしつつあります。血液疾患は分子生物学の恩恵に最もあなかった分野ではないでしょうか。

現在、造血器腫瘍の診断ではフローサイトメトリーとPCRが大きな武器となります。PCRにより小さな生検検体でもそれがリンパ腫であるか、さらにはTかB cell タイプかは1日足らずで判定できます。病理診断をいただける前に、少なくともそれがリンパ系の腫瘍であるとの診断が可能となります。フローサイトメトリーもしかりです。急性白血病患者さんが来られた場合、それが骨髄性かリンパ性白血病であるかは即日で診断できます。これにより、的確な治療を直ちに決定できます。

今まで、当院ではこれらの検査を大手の検査会社に外注して来ました。しかし、結果が得られるまでにどうしても数日から1週間程度かかるのが現状です。この数日のタイムラグが治療成績や在院期間、さらには病院の経済的な

側面にも大きく影響して来ます。

迅速で的確な診断および治療を目指して、当血液病センターでは細胞治療室を立ち上げることになりました。このため、1月より先端医療センターから伊藤仁也室長(血液内科医長兼務)を招いて、またこれに必要な機器を購入していただき、着々とその準備が進行しております。

細胞治療室に期待できること

Point 1

フローサイトメトリーとPCRによる迅速で的確な診断が可能になります。

Point 2

少量の検体でもPCRで対応できます。

Point 3

腫瘍細胞の遺伝子異常や表面抗原のパターンにより予後不良因子の同定が可能になります。これにより、完全寛解後に造血細胞移植が必要か否かの判断が的確にできます。

Point 4

また、遺伝子マーカーや表面抗原パターンを用いて、完全寛解後に微小残存病変が存在するか否かを知ることができます。これにより再発の危険性を予知することができます。

Point 5

化学療法、あるいは移植後の免疫低下状態では様々なウイルス感染がみられますが、ウイルスを同定できるのは限られた数種類のみです。細胞治療室ではPCRを用いた網羅的(すなわち同時に多数の)ウイルスゲノムの解析を行っており、これにより迅速にウイルス感染の治療が可能になります。

Point 6

在院日数の短縮:診断が迅速にでき、治療効果判定の精度が上がりますから、不要な治療を省くことができます。これにより在院日数が短くなり、一定期間に受け入れることのできる患者さんの数が増えますから、地域医療機関と当院の両方にメリットがあります。

チーム医療としての血液病センター

血液病に限らず、病院の第一の目標は的確な診断と治療成績の向上です。しかし、この過程では患者さんの満足度およびQOLが非常に重要となります。

最初に述べましたように、血液病センターは確固たるハードと多くの職種の方々と構成されるというソフトの両方を備えております。特に後者のソフトで患者さんの満足度およびQOLの向上に努める所存であります。



医療機能評価 ver.6 を受審して

医療機能評価認定更新委員会
委員長 平井 収

2010年11月16日から11月18日の3日間に渡って、(財)日本医療機能評価機構の訪問審査を受けました。

5年前のver.5受審のときは退院サマリー提出の改善を条件になんとか認定してもらいましたが、今回は私の他に西村看護副部長、高橋検査室主任、萬総務室員で推進の中核メンバーを形成し、綿密な計画のもとに進めることが出来ました。結果、追加審査なしに2011年2月4日付けで認定されたとの報告を受けました。院内各部署の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

医療機能評価は病院の中期計画策定、診療録の書き方、各種委員会の活動状況など特有の形式的な項目がかなりの部分を占め、患者に高度の医療を提供するという医療機関の正味の實力の評価とは一致しない所はあります。しかし準備を進めるに連れて、病院というものは如何に多くの部署が必要で、それらが有機的に機能して初めて診療が成り立つものであるかということが分かります。言い換えれば病院において患者を診るとことは、医者と看護師がいれば済むものではありません。診療を支える診療技術部、経営・

人事を管理する事務部門、さらに給食から院内の清掃、保安管理まで、あらゆる部署の協力が必要です。

謙虚に考えれば医療機能評価機構に認定されたということは、病院を支える機能が一定以上のレベルあるということお墨付きをもらったに過ぎません。ただ院内の様々な組織、運用方法などを見直すことによって、先を見据えた病院作りを目指すことに最も大きい意義があります。これを契機により良い診療体制を構築していく所存でありますので、今後ともよろしくお願い致します。

地域医療連携室予約受付について

II 予約受付時間

- 平日：8時30分～19時00分
- 土曜日：8時30分～12時00分

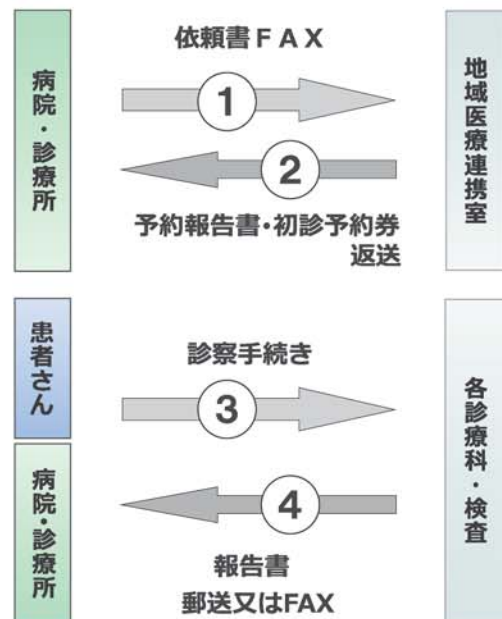
II 予約連絡先

電話FAXにて地域医療連携室にご連絡ください。
迅速に対応させていただきます。

- 連絡先
Tel. 078-261-6739(直通)
Fax. 078-261-6728(直通)
- 夜間・休日連絡先
Tel. 078-261-6711(代表)

※時間外は当直医がお受けさせていただきます。
※急患は随時受け付けておりますので、お問い合わせ下さい。

II 検査・外来診療依頼方法



+ Shinko Hospital Infomation +

東神戸エリア病診連携の会のご案内

神鋼病院では、地域全体で効率の良い医療が行えるよう、【病理診断】をテーマに東神戸エリア病診連携の会を開催させていただくこととなりました。季節柄何かとご多用中のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

- 日 時：2011年4月15日（土）18:30～20:00
- 会 場：神鋼病院3階 講堂（神戸市中央区脇浜町1-4-47 TEL 078-261-6711）
- 特別講演『臨床医のための病理診断学』
神戸大学医学部附属病院病理診断科 特命教授 伊藤 智雄 先生
座長：神鋼病院副院長 鈴木 雄二郎

神戸地区呼吸器疾患地域連携講演会のご案内 神戸市薬剤師会東灘地区生涯教育研修会

- 日 時：2011年4月16日（土）17:00～19:00
- 会 場：兵庫県国際交流会館多目的ホール
(神戸市中央区脇浜町1-2-8 TEL 078-242-2561)
- ご 報 告：「当院での肺癌治療」
神鋼病院呼吸器センター 吉松 昭和 医師
- 特別講演『悪性胸膜中皮腫の集学的治療と臨床試験の現状』
兵庫医科大学呼吸器外科 主任教授 長谷川 誠紀 先生
座長：香川大学医学部呼吸器・乳腺分泌外科
教授 横見瀬 裕保 先生

*日医生涯教育講座認定 2単位申請中
*神戸薬科大学エクステンションセンター受講シール 1単位申請中

平成22年度兵庫県医師会勤務医 医学研究助成に選考されました

- 研究課題
本邦における冠動脈疾患
とCOPDの関係
- 代表研究者
呼吸器センター
医長 松岡 弘典
- ※平成23年3月9日県医師会長より
助成金交付を受けました。
- ※当院呼吸器センターと循環器内科の
コラボレーションの研究です。

■ 神鋼病院理念

地域医療に貢献し、
信頼される病院を目指します。

■ 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。